

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	令和3年度 第1回嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会		
開催日時	令和3年8月24日(火) 14:00～15:00		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎 3-2会議室		
傍聴の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	犬尾委員、古河委員、坂口委員、池田委員、 近藤委員、光武委員、栗山委員、石橋委員、 藤山委員、藤田委員、宮田委員	
	事務局	副市長、市民福祉部長、健康づくり課長 同課副課長、同課主査、同課主事	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	第1回嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会資料		
審議等の内容	別紙のとおり		

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	第1号 令和2年度嬉野市国民健康保険事業の状況について（報告） 第2号 令和2年度嬉野市国民健康保険決算の状況（報告）		
内 容			
審議経過	副市長	（委嘱状交付） 4月1日付森田委員から石橋委員に委員交代したことによるもの。	
	副市長	（副市長あいさつ）	
	会長	（会長あいさつ）	
	事務局	（会議成立の報告）	
	会長	（会議録署名委員の選任） 署名委員を保険医代表として栗山委員、被保険者代表を藤山委員に選任してよいでしょうか。	
		≪異議なし≫	
	事務局	議題第1号「令和2年度嬉野市国民健康保険事業の状況について」 説明 （国保加入状況） 国保加入数は、年々減少傾向が続いていまして、令和元年度平均世帯数は3,467世帯、平均の被保険者数は5,686名です。	
	事務局	（減免、税率及び収納状況について資料より説明） 新型コロナの影響により主たる生計維持者の事業等の収入減少が見込まれ、一定の要件に該当する場合、令和2年度分及び令和元年度の9期10期分の国保税が減免となります。対象世帯数は、74世帯分になります。この制度は国の財政支援の対象となりますので、かかった費用全額が交付金等でまかなわれ、令和3年度についても事業は継続されま	

審議経過	事務局	<p>す。</p> <p>また、令和2年度の収納率は95.39%で前年度と比べ0.69ポイントの増です。</p> <p>(医療費について)</p> <p>令和元年度と2年度の医療費計を比較するとおよそ1億600万円減、となっています。また、一人当たりの一般医療費を取りますと、令和元年度約37万4000円に対し、2年度は約36万9000円と減少していますが、H30年度と比較してみるとH30年度は約35万3000円ですので一人当たりの一般医療費は増加傾向にあると考えられます。</p> <p>退職者医療制度は、制度改正により平成27年4月から新規の適用がなくなっていますので、令和元年度で対象者がいなくなり、制度が廃止になっております。よって、療養の給付はなく、過年度分の療養費9,264円のみとなっています。</p>
	事務局	<p>(国保の保健事業)</p> <p>国保人間ドック・脳ドック事業について。これは国保の方の30歳から65歳までの方の中で5歳刻みの対象者に対して実施をしている事業です。30代～50代の世代の受診が少ない状況です。</p>
	事務局	<p>(特定健診事業)</p> <p>例年通り個別健診と集団健診、毎日健診を行っています。対象者は、4,047人、そのうち2,023名の方に受診していただき、受診率は7月31日の速報値で50.0%です。新型コロナウイルスの影響を受け受診率が低下する市町もみられる中、本市においては令和元年度と同等の受診率を維持することができています。日曜日に行う集団健診の日程を1日追加したことや未受診者勧奨事業の成果が出ていると考えられます。</p> <p>特定健診の結果からは男性・女性どちらも「血糖異常」の方が多い結果となっています。この「血糖異常」は、佐賀県が全国ワースト1位になっている課題であり、これまで以上に糖尿病の重症化予防に取り組んでいかなければと思っています。</p> <p>特定保健指導は特定健診を受けられた方のうち10.2%である205名が対象で前年度とほぼ同じです。最終評価まで終了した方の割合は57.0%で、まだ終了していない方がいらっしゃるの、終評価を行い、実施率の増加につなげたいと思います。</p>
	委員	<p>新型コロナウイルスのワクチン接種と特定健診の受診率低下にはどのような因果関係があるのですか。</p>

審議経過	事務局	ワクチン接種については病院での個別も実施しております。また、特定健診についても病院で実施しております。ちょうど時期が重なっており、新型コロナウイルスのワクチン接種を優先するようにしておりますので、どうしても特定健診の受診率が低いということで、今年度新たに10月、1月に追加健診期間を設けております。
	委員	特定健診の受診勧奨の中で40歳到達者に対して、電話で受診勧奨を実施するということですが、電話番号についてはどのような方法で把握していますか。
	事務局	平成27年度頃から勧奨を行っており、電話番号の把握方法としては、毎年各世帯へ送付しているがん検診の調査票に記載していただいた電話番号や同一世帯で健診を受ける方がおられたら、健診の結果表にご自宅の電話番号が記載していただいている番号にお掛けして勧奨をしています。
	委員	電話勧奨の効果はどのくらいでしょうか。固定電話になるので、なかなか出られないと思いますが、成果はでていますか。
	事務局	電話を掛けた方がどれくらい受診されたかについて40歳に限定した評価はまだできていない部分ではあります。反応としては、「受けんばやったね」と言っていただけでありますので受け入れは良好だと思います。今後は40歳への電話勧奨の効果を検証していく必要があると思います。
	事務局	特に特定健診については受診率が令和元年度から著しく上がっております。平成28年度から平成30年度までは40%代ですが、令和元年以降50%代になったのは、専門業者に委託をしまして、個人の状況に応じて5パターンぐらい種類が違う勧奨通知を年3回行うことで、一気に効果がでてきております。 先ほどの40歳への電話勧奨と合わせて、個人の状況に応じた通知を行ってまいりたいと考えております。
	議題第2号 「嬉野市国民健康保険決算の状況について」説明 (歳入について) 国民健康保険税の決算額は前年度より1,890万円程度の増額です。令和2年度に保険税率を改定したことや収納率が向上していることもあり、収入額が増加している状況となっております。	

審議経過		<p>国庫支出金については、令和2年度に「災害等臨時特例補助金」という項目で新たに追加されています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により給与収入が減少した被保険者（被用者）に対して保険税減免措置を行うことにより、国から特例的な財政支援を受けるものです。</p> <p>県支出金については、市の保険給付費の財源として交付される普通交付金と、国保財政安定のための調整及び各種事業への取り組み状況などにより交付される特別交付金となります。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う受診控えなども影響し普通交付金は前年度から1億円ほどの減額となっています。一方特別交付金については、全体で2千万円ほどの増額となっています。</p> <p>国民健康保険基金繰入金につきましては、1,925万程の減です。令和2年度は、保険税率改正などの影響もあり、基金を取り崩す必要がなかったためです。</p> <p>諸収入のうち、雑入については、前年度の普通交付金及び特定健診等負担金の精算金です。前年度概算で交付を受けていましたが、不足が生じたため翌年度に追加で交付を受けるものです。</p> <p>（歳出について）</p> <p>一番増減の大きなものは保険給付費です。前年度と比較すると、1億4千400万程の減額となっています。新型コロナの影響による受診控えが主な要因で、前年度比の約94%となっております。</p> <p>国民健康保険事業費納付金につきましては、市で支払う医療費のすべての財源である普通交付金を賄うため、各市町の規模に応じて割り当てられ、県に対して支払を行うもので約8億8600万円 県に対して支払を行ったところ です。</p> <p>保健事業費につきましては、140万円程度の減額となっています。被保険者数が年々減少していることもあり特定健診委託料についても減となったと考えられます。</p> <p>令和2年度決算の歳入合計の35億1,463万4786円に対しまして、歳出合計34億1,750万6420円となりまして、歳入・歳出差引額 収支が9712万8366円という決算になります。</p> <p>（質疑なし）</p>
	事務局	<p>（質疑なし）</p> <p>事務局 次第9その他「今後のスケジュール」について事務局から説明。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>（閉会）</p>